

※【修正公示】

本案件は10月30日に公示しましたが、以下2. 契約予定期間等の(2)業務M/Mおよび(3)業務日数の記載の一部に誤りがあったため修正します。

番 号 : 131055

国 名 : ブルキナファソ

担当部署 : 人間開発部基礎教育二課

案件名 : 初等教育・理数科現職教員研修改善プロジェクト フェーズ2 中間レビュー調査(評価分析)

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務 : 評価分析
- (2) 格 付 : 3号
- (3) 業務の種類 : 調査団参团

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間 : 2013年11月下旬から2014年1月下旬まで
- (2) 業務M/M : 国内0.50M/M、現地0.63M/M、合計1.13M/M
- (3) 業務日数 : 準備期間 現地業務期間 整理期間
3日 19日 7日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数 : 1部
- (2) 見積書提出部数 : 1部
- (3) 提出期限 : 11月13日(12時まで)
- (4) 提出方法 : 専用アドレス(e-propo@jica.go.jp)への電子データの提出、
または調達部受付(JICA本部1F)への書類の提出

※2013年10月2日以降の公示案件(業務実施契約(単独型)のみ)より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を試行導入します。提出方法等詳細については、JICAホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ)をご覧ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針 :
 - ①業務方針の的確性 6点
 - ②業務方法の整合性、現実性等 12点
 - ③当該業務実施上のバックアップ体制 2点
 - (2) 業務従事者の経験能力等 :
 - ①類似業務の経験 40点
 - ②対象国又は同近隣地域若しくは同類似地域での業務経験 8点
 - ③語学力 16点
 - ④その他学位、資格等 16点
- (計100点)

類似業務	評価分析にかかる各種調査
対象国／類似地域	ブルキナファソ／全途上国
語学の種類	英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：特になし
- (2) 必要予防接種：黄熱：入国に際してイエローカード（黄熱病予防接種証明書）は必要です。

6. 業務の背景

ブルキナファソの初等教育では、近年教育の機会拡大に重点的に取り組んできた成果が見られるが、内部効率や学習到達度は依然として低く教育の質に課題があり、教育開発10ヵ年計画（PDDEB）第二フェーズ（2008－2010）においても重点課題となっている〔PDDEBの後継政策で現在策定段階にある基礎教育戦略的プログラム（PDSEB：2011－2020）においても初等教育の質の強化が重点分野〕。教育の質に関しては、1教室あたりの生徒数が過大であること、教員の能力不足、教育行政官（視学官など）の支援体制が不十分であること、生徒の親の教育への関与度が低いこと、などが挙げられている。

特に教員については、その多くは生徒の理解度を考慮しない板書中心の暗記・詰め込み型授業となっており、初等教員養成校（ENEP）での養成期間も2002年に短縮（2年→1年）され、短縮された教員養成（PRESET）課程を補完する意味でも重要な現職教員研修（INSET）も学校長および全教員を対象とした教員分科会（GAP）の活動が中心となっている。

そのため、JICAは、2008年1月から2011年1月まで、SMASE（フェーズ1）を実施、対象4県においてカスケード方式により中央、地方の視学官やGAP代表者を育成し、GAPにおけるASEI-PDSIアプローチ（ケニアSMASSEでモデル化された教授法）の普及を通じたINSETの強化を支援し、教室での授業実践の改善を達成した。

ブルキナファソの国民教育・識字省（以下MENA）は、SMASEフェーズ1の取組みを高く評価し、フェーズ1の成果を全国へ拡大するとともに、さらなる授業の質の向上、そして、それらを持続させる仕組みづくりに対する支援を日本政府に対して要請した。この結果を高く評価したブルキナファソ政府は、フェーズ1の成果を全国へ拡大するとともに、さらなる授業の質の向上、そして、それらを持続させる仕組みづくりに対する支援を日本政府に対して要請した。

今回実施の中間レビュー調査では、本プロジェクトの目標達成度や成果等を分析するとともに、プロジェクトの残り期間の課題及び今後の方向性について確認し、合同評価報告書に取りまとめ、合意することを目的とする。

7. 業務の内容

本コンサルタント団員は、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続を十分に把握の上、「新 JICA事業評価ガイドライン 第1版」に沿って、プロジェクトの当初計画と活動実績、計画達成状況、評価5項目を確認するために、必要なデータ・情報を収集・整理し、分析する。

具体的担当事項は次のとおりとする。

[評価分析]

(1) 国内準備期間 (2013年11月下旬)

- ①既存の文献・報告書等(事業進捗報告書、業務完了報告書、合同調整委員会議事録、専門家報告書、活動実績資料等)をレビューし、プロジェクトの実績(投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等)・実施プロセスを整理・分析する。
- ②既存のPDMに基づき、プロジェクトの実績、実施プロセス及び評価5項目ごとの調査項目とデータ収集方法、調査方法等を検討し評価グリッド(案)(和文・英文)を作成する。また、既存のデータ・情報と現地で入手・検証すべき情報を整理する。
- ③評価グリッド(案)に基づき、プロジェクト関係者(プロジェクト専門家、C/P機関、その他「ブ」国側関係機関(MENA等)、他ドナー等)に対する質問票(案)(英文)を作成する。
- ④調査団内の検討のため、評価グリッド(案)を用いて評価デザイン(案)(和文・英文)を検討する。
- ⑤国内で収集可能なデータを整理・分析する。
- ⑥対処方針会議等に参加する。

(2) 現地派遣期間 (2013年11月下旬～2013年12月中旬)

- ①当機構ブルキナファソ事務所等との打合せに参加する。
- ②C/Pと協議した評価グリッドに基づき、事前に配布した質問票を回収・整理するとともにプロジェクト関係者に対するヒアリング等を行い、プロジェクト実績(投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等)・活動プロセス等に関する情報・データの収集・整理・確認を行う。
- ③収集した情報・データを分析し、プロジェクト実績の貢献・阻害要因を抽出する。
- ④国内準備作業並びに上記ウ及びエで得られた結果をもとに、他団員及びC/Pとともに評価5項目の観点から評価を行い、(合同)評価報告書(案)(英文)の取りまとめに協力する。
- ⑤調査結果や他団員及びC/Pからのコメント等を踏まえた上で、PDM及びPOの修正案(和文・英文)の取りまとめに協力する。
- ⑥合同評価報告書(案)に関する協議に参加し、協議を踏まえて同案を修正し、最終版の作成に協力する。
- ⑦協議議事録(M/M)(英文)の作成に協力する。
- ⑧担当分野に係る現地調査結果をJICAブルキナファソ事務所等に報告する。

(3) 帰国後整理期間 (2013年12月下旬～2014年1月中旬)

- ①評価調査結果要約表(案)(和文・英文)の作成に協力する。
- ②帰国報告会に出席し、担当分野に係る報告を行う。
- ③担当分野の調査結果を取りまとめ、中間レビュー調査報告書(案)(和文)の作成に協力する。

8. 成果品等

本契約における成果品は以下のとおり。

- (1) 担当分野に係る中間レビュー調査報告書（和文）
電子データをもって提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成の手引き」

(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。留意点は以下のとおりです。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含めず、当機構より別途支給します（見積書の航空賃及び日当・宿泊料等欄には0円と記載下さい）。

10. 特記事項

- (1) 業務日程／執務環境

①現地業務日程

コンサルタント団員の現地派遣期間は2013年11月30日～2013年12月18日を予定しています。

当機構の調査団員は本業務従事者より約1週間遅れて現地調査を開始する予定です。すなわち、本業務従事者が単独で現地調査を行う期間があります。

②現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 総括（JICA）
- イ) 協力企画（JICA）
- ウ) 評価分析（コンサルタント）

③便宜供与内容

当機構ブルキナファソ事務所による便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎

あり

- イ) 宿舎手配

あり

- ウ) 車両借上げ

全行程に対する移動車両の提供（機構職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。）

- エ) 通訳備上

必要に応じて現地にて通訳（英語⇄仏語）の備上を予定

- オ) 現地日程のアレンジ

機構がアレンジします。

- カ) 執務スペースの提供

なし

- (2) 参考資料

本業務に関する以下の資料が、当機構図書館のウェブサイトで公開されています。

す。

- ・「ブルキナファソ 初等教育・理数科現職教員研修改善計画終了時評価調査報告書」
- ・「ブルキナファソ 初等教育・理数科現職教員研修改善計画実施協議報告書(付第一次・第二次事前評価調査報告書)」
- ・「ブルキナファソ 初等教育・理数科現職教員研修改善プロジェクト・フェーズ2 (SMASEブルキナ2) 実施協議報告書」
- ・「基礎教育セクター 各国&総合分析報告書(アフリカ11カ国&中米2カ国)」

(3) その他

- ①業務実施契約(単独型)については、単独(1名)の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ②ブルキナファソ国内での活動においては、JICA安全管理措置を遵守するとともに、JICA総務部安全管理室、JICAブルキナファソ事務所の指示に従い、十分な安全対策措置を講じることとします。
- ③コンサルタント団員は、他の団員に約1週間先行して現地調査の開始を予定している。
- ④基礎教育に関する調査/業務経験があることが望ましい。
- ⑤資料の多くが仏文であるため、仏語で業務遂行する能力を有することが望ましい。

以上